

# 市民がほんとうに望んだ『下北沢駅前地区計画』でしょうか？

## —市民アンケート結果の発表＋代替案を考えるキックオフ会—

世田谷区により平成17年度に計画決定がされようとしている『地区計画』が実施されると、下北沢駅前周辺は大きく変わることになります。一緒に計画されているのは、駅前にバスロータリーなどの交通広場を造ること、大きな道路を通すことなのです。

世田谷区は、こうした計画を「地元の要望により」決めてきたという言い方をしています。しかし、ほんとうにそうなのでしょうか？

そこで「下北沢フォーラム」では、明治大学・都市建築デザイン研究室にアンケート調査研究を委託しました。アンケート調査は、昨年11月に北沢2丁目および周辺地域の市民の方々3029人を対象にして「下北沢らしさに関するアンケート」として実施されました。1209人の方たちから回答を得ることが出来、その結果がまとまりましたので、公開発表をいたします。

その結果、現在の世田谷区の計画は、決して、地元の皆さんが望んでいるものではないということがわかりました。わたしたちは、この結果を今後の街づくりに活かしながら、世田谷区に提案していく代替案を地元の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

そのためにも、下北沢地区について、これまでに研究・提案されてきた、さまざまな将来案についてご紹介して、これからスタートする「市民が考える代替案」の方向性とそれをまとめるプロセスについて、具体的な話し合いをしたいと思えます。

日時： 2006年1月24日（火） 19:00～21:00

場所： 北沢タウンホール 11階 第1・2研修室（定員90名）

### 第一部 住民アンケートについて結果報告

### 第二部 下北沢地区 将来計画について さまざまな提案について発表・解説

- 1) 「ハーバード大学」案  
昨年10月に、ロウ教授および大学院生11人が来日して調査を行いました。計画道路のルート変更、小田急線跡地利用について主に取り上げています。
- 2) 「慶応義塾大学」案  
1月21日にハーバード大学案と共に慶応義塾大学（三田）で発表されます。若いアーティストたちを育て、文化的情報を発信できる下北沢を目指します。
- 3) 「明治大学」案  
具体的な駅前広場のあり方について考え、敷地のレベル差を考慮した交通ロータリーの代替案を検討しています。
- 4) 「しもきた街づくり構想報告書」案  
2001年に「しもきた商店街振興組合街づくり委員会」が中心となってまとめた計画案です。
- 5) 「Save the 下北沢」案  
2005年6月に、東京都・世田谷区に1万人を越える道路反対署名とともに提出した54号線を前提としない街の改善案です。
- 6) 「ジャイメ・レルネル氏」案  
ブラジル・クリチバ市の元市長で前国際建築家連盟会長が昨年9月に下北沢を視察。小田急線跡地について、大変ユニークな提案を行いました。
- 7) そのほか